

教育委員会だより

●教育長あいさつ	1
●第6次福島県総合教育計画	2
●平成28年度県教育委員会所管予算	3
●県教育委員会名簿・県教育庁新陣容	3
●県教育庁の組織及び電話番号一覧	4

発行 平成28年4月1日(金)
福島県教育委員会
No.163

未来を担うところ豊かな

たくましい人づくりのために

福島県教育委員会教育長 鈴木 淳一



このたび教育長に就任いたしました鈴木でございます。昨年四月に施行された改正地方教育行政法に基づく初の教育長として、責任の重さを痛感しております。

大震災から五年が経過し、本県教育復興のシンボルであるふたば未来学園高等学校の開校など、少しずつ明るい話題が増えつつあります。一方、多くの県民の皆様が今なお県内外で避難生活を続けられていたり、根強い風評被害と風化の進行など、本県は依然として厳しい状況が続いております。

本県の未来を担うのは子どもたちであり、「人づくり」の根幹である教育は一層重みを増しているといえます。私は、変化の激しい社会で、多くの人たちと協働しながら「生き抜く力」を備えた子どもたちをしっかりと育ててまいりたいと考えております。

県教育委員会といたしましては、平成二十五年三月に改定した第六次福島県総合教育計画の基本理念である「**「ふくしまの和」**」で奏でる、**「こころ豊かなたくましい人づくり」**に基づき三つの基本目標を掲げ、各施策の展開により目標の達成を目指すこととし、さらに毎年度「重視する観点」を定めて各種事業を展開しております。

平成二十八年度は、これまでの成果を踏まえ、以下の三つの観点を特に重視し、これらに沿った施策、事業を総合的に展開してまいります。その際、学校、家庭、地域が目標を共有し、共に力を合わせチームとして福島県全体の教育力を高めていくという視点から、「躍動!」「チームふくしま」を推進テーマに掲げることとしました。

基本目標1「**知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成**」では、「夢や希望の実現に向けた、たくましく生き抜く力を育む教育の推進」を重視する観点と定め、子どもたちの「**確かな学力**」、「**豊かなこころ**」と「**健やかな体**」をバランスよく育む教育を推進します。

このため、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ力を育み、生き抜く力を支える確かな学力を身に付けさせます。特に、算数・数学の活用力を高めるため、研修の充実により教員の指導力向上を図るほか、小学校段階からの英語教育や国際理解教育を推進し、広い視野と国際的な素養を身に付けた人材の育成を図ります。

また、望ましい勤労観や職業観を醸成するための進路アドバイザーの配置や、地域の関係機関と連携して小学校・中学校・高等学校を貫くキャリア教育を展開するとともに、国家及び社会の形成者として必要な政治的教養を豊かにするため、主権者教育の充実を努めます。

さらに、復興や地域に貢献する社会体験活動の機会を充実するとともに、自己の体力や食習慣についての理解を深め、自ら改善していく力を身に付けさせるなどして、児童生徒の体力向上や健康の保持増進を図ります。

加えて、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、オリンピック・パラリンピック教育を推進するとともに、平成二十九年度に南東北三県で開催されるインターハイに向けて「**全国高校総体推進室**」を設け、大会の推進体制の整備と生徒の競技力向上にも取り組んでまいります。

基本目標2「**学校・家庭・地域が一体となった教育の実現**」では、「学校・家庭・地域の連携・協働による、総合的な教育力の向上」を重視する観点と定め、地域全体で教育に取り組む体制づくりを進めます。

このため、PTAや企業と連携して、親自身の学ぶ機会の充実を図るとともに、関係部局と連携し、放課後における学習活動や文化活動、体験活動の充実を図ります。

また、生涯にわたる望ましい読書習慣の形成を図るため、乳幼児期からの読書活動を推進するほか、読書ボランティア等の人材を育成します。

さらに、文化財に触れる機会の充実を図るとともに、継承の危機に瀕している民俗芸能の円滑な継承を促進するなど、文化的資源の活用を推進します。

基本目標3「**豊かな教育環境の形成**」では、「**安全・安心で魅力ある教育環境の充実**」を重視する観点と定め、子どもたちが安心して学ぶことができる環境の充実を図ります。

このため、今後の魅力ある高等学校の在り方についての検討を進めるとともに、「地域と共に学び、共に生きる教育」の実現に向け、特別支援学校の整備を推進します。

また、引き続き個に応じたきめ細かな指導が可能となるよう少人数教育を推進するとともに、相双地区をはじめとした教育復興に取り組みます。

さらに、安全で安心な教育環境づくりのため、学校施設の改築を計画的に進めるとともに、学校給食の放射性物質検査への支援等を継続するほか、経済的な理由から修学が困難となった生徒等に対し、奨学金の貸付等による支援を継続してまいります。

以上、所信の一端を申し上げますが、子どもたちが震災を乗り越え、それぞれの想いや夢を持ってたくましく成長していけるよう、県教育委員会一丸となって教育に取り組んでまいりますので、皆さまには本県教育の更なる充実・発展のため、より一層力を尽くされることをお願い申し上げます。挨拶いたします。